

# □■ 11 コピーキューブ ■□

～ 折り紙サイコロの形合わせ、色合わせ ～

折り紙で作った立方体「キューブ」を用いて、グループ全員で協力して、離れたところにあるモデルと同じものを作りあげ、課題解決やコミュニケーション能力を育みます。記憶力、体力、そしてチームワークが試されます！



し〜ちゃん

\*対象…小学校中学年～  
\*人数…4人～6人程度  
\*時間…30分程度  
#伝える#聴く#協力#  
記憶力#体力#チームワ  
ーク

## 用意するもの

- 折り紙で作った立方体「キューブ」4個×2（次ページ参照）  
（作り方は、ネットで「折り紙のサイコロ」と検索したサイトにあります。）
- 透明のアクリル板など（必要に応じて）

## 進め方

- (1) グループの中で順番を決め、1人ずつ、離れた場所にあるモデルを見に行く。モデルは席から見えないところに置く。必要に応じて透明のアクリル板等の上に置き、下からも見えるようにする。  
全員が見に行き終わったら、また最初の人から順番に見に行く。
- (2) 見に行った人は戻ってきて、キューブの情報をグループ全員に伝えると共にそのキューブを動かしてモデル同様のものを作りあげる。  
見に行った人以外はキューブを触ることはできない。（対象によってこの条件を外すこともある）
- (3) 完成したらモデルを全員の前に持ってきて答えあわせをする。
- (4) 確認した後、活動中に気づいたことなどをふりかえる。

## バリエーション

他の形の折り紙と一緒に混ぜ合わせ、視覚的に複雑にすることも可能。

## ふりかえり

- ・情報を「伝える」「聴く」「協力」することができたか、ふりかえりをする。
- ・グループが複数の場合は、グループでのエピソードや各グループの作戦の立て方等を発表しあう。

## 注意事項

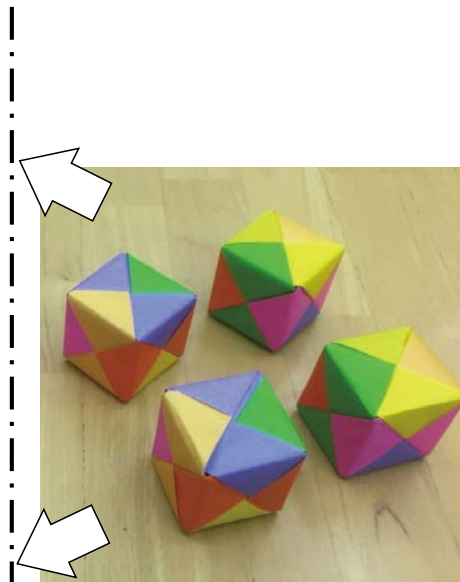
モデルを見に行くまでの経路、障害物等を確認し安全に配慮する。「走らない」というルールを付け加えても良い。



<モデルの例：重なるとわかりづらい>



<モデルの例：下に透明の板を用意し、下からも見えるようにするとわかりやすい>



<用意されたキューブ：モデルのキューブをよく見て、同じように作り上げていく>